

2017年度 岩手県立大学地方創生セミナー

『地方創生の先にあるもの』

1 趣旨

人口減少対策を中心とした、ひと・まち・ものづくりによる地方創生の取組みが全国各地で行われており、本県においても、産（産業）・官（行政）・学（学術機関）・金（金融機関）・労（労働団体）・言（報道機関）を中心に全県を挙げて、危機感を抱きながら精力的に進めているところである。そのなかでも、現在、本県や本学等も加盟している岩手県協議会や東北協議会が、本県への誘致を進めている国際リニアコライダー計画は、実現すれば世界最先端の研究施設が設置され研究学園都市が形成され、1万人規模の研究者やその家族等の移住が見込まれるだけでなく、関連産業の集積なども見込まれ、新規の産業分野も形成され雇用も生まれ、外国との交流や多文化共生も進み、教育効果も高まるなど、その将来性が高く期待されるプロジェクトである。

しかし、未だ、地方創生と国際リニアコライダー計画の理解が十分に広まり深まっているとは言えない状況にある。地方創生の先には何があるかの議論も十分ではないように思われる。国際リニアコライダー計画についても、適地とされる北上山地付近でも内陸の県南地域以外でも機運が高まっているか疑問のあるところである。

ついては、航路による物流の機会の増加が期待されるなど盛り上がりを見せている気仙地域において、地方創生と国際リニアコライダー計画の内容と両者の関係とその将来性について議論し、一層の機運の醸成を目指すものである。

2 日時

平成29年12月16日（土） 13:30～16:30

3 会場

大船渡市魚市場3階多目的ホール 大船渡市大船渡町字永沢209 0192-26-4112

4 日程

開場 13:00

(1) 開会 13:30

(2) 講演1 13:35～14:05（30分）

「地方創生の先にあるもの」

岩手県立大学特任教授 植田 眞弘

(2) 講演2 14:05～14:45（40分）

「大船渡市の地方創生の取組みについて」

岩手県立大学総合政策学部教授 山本 健

休憩 14:45～14:55

(3) 講演3 14:55～15:35（40分）

「地方創生におけるILC計画の位置づけと将来性」

岩手県立大学長 鈴木 厚人

(4) 討議等 15:40～16:25（45分）

「気仙地域の地方創生の先にあるもの」

パネリスト	岩手県立大学長	鈴木 厚人
	岩手県立大学特任教授	植田 眞弘
	岩手県立大学総合政策学部教授	山本 健
	大船渡市長	戸田 公明
	大船渡商工会議所会頭	齊藤 俊明
	〃 副会頭(岩手県立大学経営委員)	米谷 春夫
コーディネーター	岩手県立大学総合政策学部准教授	新田 義修

(5) 閉会 16:25

5 参加費用等

なし

6 実施主体

公立大学法人岩手県立大学（研究・地域連携本部）

7 申込先・問合せ先

岩手県立大学研究・地域連携室（TEL：019-694-3081）